

# 研究名：眼科における全身麻酔下検査の実態調査

## 1．研究の目的

小児の目の診察には、目に機器を近づけての検査や長時間の安静が必要な検査があります。このような検査では、協力が得にくい場合、鎮静下で検査をおこなうことがあります。なるべく鎮静を行わないためにさまざまな工夫を講じていても、網膜芽細胞腫や網膜剥離をきたしやすい疾患などでは眼内をすみずみまで検査する必要があり、全身麻酔下検査を避けられません。

当院は小児科専門病院という特性上、比較的全身麻酔下検査を行う機会が多いという特徴があります。そこで、当院での全身麻酔下検査を実施した患者さんの診療記録から、全身麻酔下検査の特徴、利点、注意点についてまとめ、今後の診療に役立てることが今回の研究の目的です。

## 2．研究の方法

研究対象：当センターにて2021年1月～2021年12月までに全身麻酔下に眼科の精密検査を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2022年4月

研究方法：患者さんの診療情報を後ろ向きに調査します。

## 3．研究に用いる情報の種類

診察時年齢、性別、基礎疾患、検査データ（眼科精密検査の測定結果）、治療記録など

**患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。**

## 4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

## 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

## 6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 眼科 林 思音

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7896）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 眼科 林 思音